

ルクミー

スマート保育園。通信

特集

保育業務のICT化に 最適なタブレット数は どれくらい?

『みどりキッズガーデン』と ── 調査してみました/ 保育の質の向上のため、「保育園のICT化」が謳われる昨今ですが、何をどれくらいICT化すればいいのか、実は迷われている園様も多いのではないでしょうか?

そこで今回は、実際に保育園様にご協力いただき、タブレット4台を自由に使っていただくと、園の業務はどう変化するのか?調査してみました。

◆調査方法◆ 普段、パソコン1台+iPadmini 1台を共有しながら、連絡帳入力や帳票作成を行っている6名の先生方に、9日間、4台のiPadminiを追加でお貸しし、自由に使っていただきました。

◆調査協力◆

学校法人けや木学園 みどりキッズガーデン(小規模保育施設)



◆調査概要◆ 2020年11月 未満児クラス(園児19名)



トピックス



タブレットを使う2大メリットは、「場所を選ばず入力できること」 と「入力時間が短縮されたこと」

Q. ひとり1台のタブレットを持ったことで、タブレット・パソコンを複数 の先生で共有していた時と比べ、どのような変化を実感しましたか(人)

場所を選ばず記入でき、記入待ちの時間が減った 連絡帳の記入が、iPadminiで楽になった 週案の記入が、iPadminiで楽になった 日誌の記入が、iPadminiで楽になった 保育に余裕が生まれた

残業時間(持ち帰り業務)が減った ネット環境で業務が滞る事がなくて入力時間短縮になった

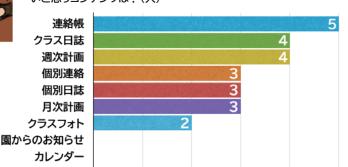
2 2 2 1 1 1 タブレットが増えただけで「記入 待ちの時間が減った(6人中5名)」 「入力時間短縮になった(1名)」な ど、時間的負荷が減ったという実 感や、記入頻度の高い連絡帳や日 誌、週案の負荷が減ったことがわ かります。

一方、保育に余裕を持ったり、残 業時間を減らすためには、さらに 別の工夫が必要なようです。

トピックス **2**

記入頻度が高い帳票ほど、タブレット入力が効果を発揮!

Q. 今回テストで使用してみて改めて、タブレット端末で入力作業をしたいと思うコンテンツは?(人)



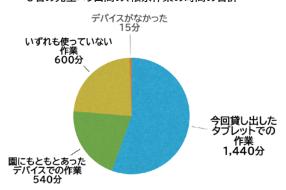
9日間を終えてアンケートで「今後もタブレットで入力したいと思う帳票」を保育者に訊いたところ、図のように、ほぼ全員が連絡帳を、半数以上がクラス日誌・週次計画を、今後もタブレットで入力したいと回答しました。

一方、毎日書くわけではない「月次計画」などは意見が2つに分かれる結果となりました。

トピックス

タブレットを使いたい帳票作業の時間は、1人1日あたり約38分!

6名の先生×9日間の、帳票作業の時間の合計



水色の部分をご覧ください。今回タブレットがあったことで1,440分もの事務作業(一人あたり1日約27分)を、新たにタブレット上で処理することができました。

黄色の部分は、みどりキッズガーデンのクラス日誌が、タブレットで対応できない形式だったため、約600分(一人あたり1日11分)の紙での作業となりましたが、形式さえ対応すれば、タブレットで処理したかった作業の時間です。

トピックス

パソコン以外のデバイスが増えたことで、待ち時間が減り、満足度はUP!!



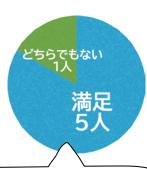
Q. 連絡帳や帳票作業には、パ ソコンとは別にタブレットが欲 しいと思いますか?



Q. タブレットが増えたことで 待ち時間が減ったと実感しま したか?



Q. タブレットを増やした環境 への満足は



1人の先生あたりの、帳票作業にかかった時間を比べてみましょう

	調査前	タブレット増設後 (今回の調査期間)	短縮された時間
連絡帳 (1日あたり)	24分	21分	3分時短
クラス日誌 (1日あたり)	27分	18分	25分時短
週次計画 (1回の作成あたり)	1時間 2分	38分	18分時短
1日合計 (週次計画を作った日)	1時間 53分 【	1時間 17分	36分時短
1週間合計	5時間 17分	3時間 53分	1時間 24分時短

満足している理由:

「パソコン業務の環境が改善されたため」

「端末の台数が増え使いやすくなった」 「各クラスにキッズリー専用のタブレットがあったため、作業しやすかった」

時間短縮を実感されたという声が多いですが、実際にどの程度の時短になったのでしょうか?

帳票作業の時間については、左のよ うな時短が確認されました。



「今後もタブレットを調査時のように使いたい」が過半数

「月案はパソコンの方が (タブレットより)画面が大きくて 使いやすい」

「タイピングが苦手なため」

このように、タブレット活用にあたっては、 タイピングスキルの考慮や、何を作るか・何を見 るかなど対象に応じてパソコンと 使い分けることが大切ということが わかりました。 あまり使いたくない 1人 どちらでもない 1人 使いたい 4人

/ 「使いやすい」 「業務短縮になった」 「各クラスに端末があると 作業しやすい」

このように、満足している 理由と共通した回答が \ 見られました。 /

まとめ

ICTの導入にあたって、パソコンに加えて、タブレットやスマートフォン等のデバイスがあると、保育者の負担が減り、作業の時間も短縮することができる!!

新年度に向けて

お役立ち情報

写真付き記録を園で実践するための

アカナ マニュアル

ICTを迷いなく使っていただくためには、最初に使いかたを確認しておくことが大切ですね。そこで、以下に デュデュ の操作マニュアルがアップされていますので、新任の先生はもちろん、変わら

ずいらっしゃる先生方が迷ったら戻れるよう、共有・お渡し してご活用ください。

https://sites.google.com/unifae.com/lookme-photo-organiza tion/online-manual



切り取って持ち歩けば安心!▲



保育の デザイン 研究所 保育のデザイン研究所

検索しい

スマート保育園実施のパートナーである保育のデザイン研究所様より、 かねてよりご要望の多かった入職時研修の講座を、期間限定・特別価 格でオンライン配信中!

- 採用予定の方の事前学習として
- 新入職員の集合研修として

新入職員が集まって、時間をかけて研修をすることが ままならない昨今、ぜひオンラインでの研修をご活用 ください。



保育者からの贈り物 Vol.7

「イヤイヤ期 いつまで」「甘え 甘やかし 違い」など、息子が2歳になった頃に同じようなことを検索しては悩むという行動を繰り返していました。Webの記事やSNS、TVの情報はどこか息子には当てはまらないように感じ、いつまでも気が晴れませんでした。

そんな時に霧を晴らしてくれたのは担任の先生との面談でした。「イヤイヤは保護者を困らせるためにしているのではなく、ただ自分の要求を伝えようとしているだけ。ただし、無理だと思う要求は説明して断ればいい、今はそうやってルールを作る過程にいる。」というアドバイスをいただき、冷静になれたのをよく覚えて



います。当たり前のことかもしれませんが、親と子では見えているものが全く違い、それをすり合わせてルールを整えるには長い目でじっくりやるしかないんだと腹を括ることができました。いつも息子を見守ってくれている先生が保育園での様子を例に挙げて話をしてくださったおかげで納得することができたのだと思います。

現在3歳半の息子は相変わらず欲望に忠実で「このままで大丈夫?」と思うこともありますが、その度に先生の言葉を思い出し、以前よりも落ち着いて相手をすることができるようになりました。いつも注意深く子ども達を観察し寄り添ってくださる先生方にはいくら感謝してもしきれません。